

佐渡生きものの語り 作品集 2018





朱鷺と暮らす島 生物多様性佐渡戦略 キャッチコピー

佐渡でふれあういのちのつながり

く人とトキが暮らす島を孫の世代へく

みなさんは「生物多様性」という言葉を知っていますか？
生物多様性とは「生きものたちの豊かな個性とつながり」のことです。

私たち人間は、地球という大きな生態系の一員であり、私たちの暮らしは、様々な生きものが関わり合い、得られる恵みによって支えられています。

佐渡の豊かな自然や文化を保全・再生し、佐渡で生まれた多くの生きものと私たちが共生する環境を後世に渡って継承していくために、佐渡市では、平成24年6月に「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」が創られました。

佐渡の生物多様性を「知る・守る・使う」ことで、自分たちの子供や孫の代まで繋いでいく取り組みです。

「佐渡生きもの語り」について

佐渡では、「トキが餌に困らないように」を合言葉に、田んぼに生きものが増える工夫をした米づくりに取り組んでいます。これが「朱鷺と暮らす郷」認証米です。

認証米を始めてからは、田んぼに稲の様子を見に行つたとき、生きものにも目が行くようになったとおっしゃる農家さんは、「前より生きものが増えてきたんだよなあ」と嬉しそうな様子でした。

認証米農家は毎年2回、自分の田んぼの生きもの調査をして、記録を残しています。そしてもう一つ、より多くの方たちに田んぼで暮らす生きものを知ってもらうために、川柳や写真、イラストなど自由な表現方法で、佐渡で見つけた生きものたちのことを語る「佐渡生きもの語り」の取り組みを続けています。

ここに作品を寄せてくれるのは農家さんだけでなく、地元の学生さんや佐渡に来てくれた観光客の方、それから田んぼの環境学習の生徒さんなど様々です。皆さんが、トキがいて、色々な生きものがある、この佐渡のすばらしさを表現してくださいました。

さあ、「佐渡生きもの語り2018」を、どうぞご覧ください！



川柳部門

グランプリ作品

おいしいよ

トキはドジョウ

ぼくおこめ

菊地悠斗^{ひさと}・剛弘

(佐渡市・さど里山こびりい隊)

【選者より】トキ放鳥から10年、沢山の島人の熱い思いと努力で、300羽を越えるトキが佐渡のあちこちで見られるようになりました！この頃は多少の不協和音も聞こえてきますが、この句からはトキの目線で見る優しさが感じられますね・・・



Photo: M. Okada

準グランプリ作品



とまり木に

とまる姿に

トキめいた

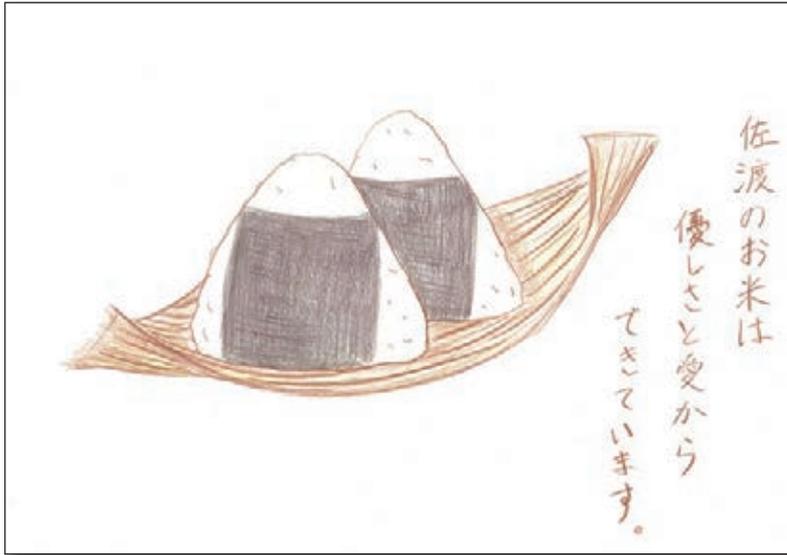
うぬま
鶺鴒沼

拓哉

(東京工科大学)

【選者より】野生のトキを初めて見た嬉しさが素直に伝わってきます。「とまり木」や「トキめいた」の言葉を使うことで、見ているのは野生のトキだとわからせる表現方法や、五七五の始まりを「と」で揃えることで、声に出すと調子よく読める句に仕上がっている点、奥が深い素晴らしい作品です。

グランプリ作品



水井 ^{のぞみ} 希望海 (佐渡保育専門学校)

【選者より】佐渡のお米づくりへの思いがうまく表現されています。おにぎりを描いていることによって、生産者の優しさと愛が消費者の方にきちんと伝わっているように感じられる、素晴らしい作品です。

準グランプリ作品



近藤 ^{なつき} 菜月 (新潟大学教育学部附属新潟小学校)

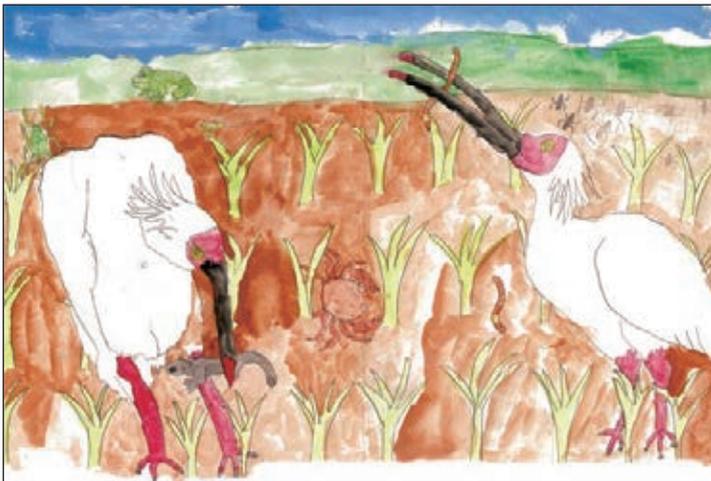
イラスト部門
グランプリ作品



鈴木 ^{まつり} 祭 (佐渡保育専門学校)

【選者より】森里海の生きものが佐渡の田んぼで仲良く遊んでいる風景。「ひょっとしたら佐渡なら実現するかも？」そんな夢を抱かせてくれます。多くの生きものと私たちが共生するこの環境を、いつまでも大切にしていきたいですね。

準
グランプリ作品



相田 ^{こうた} 宏涉 (佐渡市・新穂小学校)

川柳部門

ノミネート作品

※ノミネート作品とは

選考委員により全応募作品から選ばれた作品です。

そして、佐渡ふれあいアツセまつり来場者からの投票でグランプリが選ばれました。

つなげよう みんなの生命（いのち） トキを超え

西本誠（東京大学）

田の耕起 止めて撮る写真 トキの群れ

長野和英（佐渡市）

稲穂ゆれ 朱鷺舞う空に 手をふる子

吉松正秀（未来を創る学びの場）

朱鷺色に 染まった空に ふと気配 見上げてみると

真の朱鷺色

鈴木秀太郎（桐朋中学校）

トキを見て 胸がときめき 心不全

渋井研太（東京工科大学）

草をなぎ 江を掘り 穂を刈り トキ望み

加用一者（東京工科大学）

古の 佐渡を見習い 継ぐ平和

佐久間裕司（東京工科大学）

十年で 朱色に染まる 佐渡の空

山川敏幸（佐渡総合高校）

空見あげ もう十年かと 思う日々

秋野寛人（佐渡総合高校）

暑さには 田んぼも水が うれしいね

吉良裕紀夫（佐渡市）

トキが来る 我が田んぼにも 夢がある

植田日出夫（佐渡市）

日照りさえ ものともせずに 採餌する トキの姿に 元氣百倍

川上澄子（佐渡市）

越冬の 秘策知りたや ヤゴの群れ

川上澄子（佐渡市）

大ヒビに 逃げ込めと虫らも 熱中症

小林博（佐渡市）

生き物の 棲処になれよと 精を出す 婆さんの腰の曲がりが 物語る

小濱加一郎（佐渡市）

網とカゴ 老いも若きも 虫探し

加藤幸男（佐渡市）

調査中 トキも夫婦で 仲間入り

中川保（佐渡市）

二人して 生きもの調査に 未来を願う

馬川哲雄（佐渡市）

川柳部門 応募作品

望遠に 映る白きは 佐渡のいろ

斉藤光司

白と黒 季節で変化 県のとりに

斉藤光司

夕暮れに トキが集まり 鑑賞会

佐藤ひかる

羽探し 空を見上げて トキ探し

高山縁

朝と夕 カメラかまえて 空を見る

高山縁

トキ生きる 自然環境 守り継ぐ

小松弘人

旧友と トキを眺めて 時流れ

榎本美紅

朱鷺と住む 島の自然を 大切に

伊藤倭

猛暑や 蛍はいづこ ひと蛍

浅木達夫

捕虫網 生物調査に 重宝す

外内豊明

周りにいる生きもの
の調べてみるの
じゃー！



ドクター イキモン

生物多様性 ポイント①

「佐渡市生きもの調査の日」

佐渡市では、佐渡の生物多様性豊かな環境を、市民一人ひとりが理解するために、平成22年6月に「佐渡市生きもの調査の日」を宣言し、毎年6月第2日曜日と8月第1日曜日に、全島で田んぼの生きもの調査を行っています。

農家だけでなく、子ども達や市民も参加し、佐渡の環境を支える「小さな命」に目を向ける取り組みです。

トキとヒト 知り守ること 共存へ

佐々木彩花

せみしぐれ 羽ばたくときの 応援歌

大塚幸太郎

トキがいる ああトキがいる トキがいる

小森結斗

限定の 佐渡の生き物 サドがつく

小森結斗

トキかなと きいた鳴き声 ウシガエル

小森結斗

跳ねる虫 アマガエルも 逃げてゆく

齋藤優

つかまえた いや気のせい か 手から抜け

齋藤優

へバツタラ 心のねぐらに 帰るトキ

佐久間裕司

クモさんよ よぼうしてね ごめんなさい

井川千鶴子

いねのなか イナゴがげんき とびまわる

井川千鶴子

どじょうさん つちのなかで やすんでる

井川千鶴子

おたまじゃく そんなにいそいで どこに行く

生きものが よろこぶ田んぼ 人間も

この仕事 いつまでかかる 気が重い

畦道中場 足を止め カエルの子ふまず

西空トキ色 トキは巢へ わしはトキ米の家路に

生きものたち みんながつながり 生きている

ドジョウ増え トキが来る日を じっと待つ

きんとして たんぼつくって トキがきた

茜の空 緑の地平に浮かぶ 朱鷺色の空

ビオトープで 木陰より見守る 朱鷺のおれ

減るならば 保護して見せよう 佐渡のトキ

井川千鶴子

吉良裕紀夫

小菅富美男

小林三四吉

小林三四吉

上之山篤人

馬川哲雄

岡安俊樹

嶋田眞巳

嶋田眞巳

鈴木穂高

10年目 佐渡の空へと トキ放ち 大地遙天

どこへ行く 夕暮れ空を 翔ける鳥 山上凌平

トキ共に 世界へ羽ばたく 農文化 藤生聖起

稲育つ 佐渡の大地に 朱鷺が舞う 新井勇輝

佐渡平野 朱鷺の引き出す 秋の虹 品川三郎

暑いけど 一息つける この気付き 渡辺信弘

首のばし トキはいないか 田面見る 笠井豊・澄子

溝切り機 アチコチ曲り 苦勞する 小林博

イトミミズ 解熱剤に なると云ふ 浅木達夫

雨乞いの 空見あげれば トキ2つ 齊藤英夫

田を育て 人も育てる トキの愛 沼さやか

生物多様性 ポイント②

「GIAHS (世界農業遺産)」

後世に残すべき生物多様性を保全している農業上の土地の使い方や景観について、FAO (国連食糧農業機関) が認定するものです。

佐渡市は、生きものを育む農法や、各農村集落に継承されている伝統芸能などが評価され、平成23年に石川県能登地域と共に日本で初めて認定されました。



重要じゃぞ!

日本文化 一挙に集う 佐渡の島

多田有宏

田園の 稲穂を揺らす 朱鷺の風

湯澤俊太

この島を みちびく朱い しるべかな

山崎有

トキがきて あわてて窓から 目をこらし

山崎有

里山に 子孫を残す 羽の色

高柳康久

夏がすぎ 日に日に変わる セミの声

高柳康久

畦まわり トキにふまれて 補植する

土屋甚健

トキつがい すっかりなれて こんにちは

土屋甚健

夏の日 暑さのせい 虫おらず

中川淳

佐渡のお米は
美味しいのぉ〜



生物多様性 ポイント③

「朱鷺と暮らす郷認証米」

佐渡では、農薬や化学肥料を
少なくし、環境に配慮した米作
りをしています。中でも、朱鷺
と暮らす郷認証米は、田んぼと
その周囲に生息する生きものの
環境を作り出す「生きものを育
む農法」により栽培されている
お米です。



時がたち トキがふえたら いいのにな

鷺谷光

秋風や トキに誘われ 田に近づく

伊藤蒼

金色の 暈の空に 朱鷺が舞う

秋風を知り はかなきを知る

伊藤蒼

佐渡を知り 歴史を知り 使い繋いでく

未来へ残そう トキと暮らす金の島

金子絵里奈

息殺し 揺れる水面に 手を構え

見つめる先に 動く物影

和田貴愛

トキめいた トキどきくるよ さどがしま

曾慶タカ

さいこうだ トキがとぶそら ゆうやけぞら

菊地悠斗・剛弘

たんぼはね トキのらくえん いいところ

菊地悠斗・剛弘

おいしいよ トキもみんなも にこにこえがお

菊地悠斗・剛弘

さいこうだ らくえんいっぱい いいえがお

菊地悠斗・剛弘

オタマジヤクシ 二年の冬越し 佐渡ガエルへ

川上澄子

オタマジヤクシ 二度目の冬越え サドガエル

川上澄子

踏まれても また立ち上がる 苗愛^{いと}し

斉藤孝夫

いつの日か 帰ってくるのか ほたるの灯

高柳康久

秋晴れの 佐渡の空舞う 無数の赤とんぼイラスト

齋藤真一郎

川柳 応募学校・団体

朱鷺と暮らす郷づくり認証米農家・佐渡総合高校

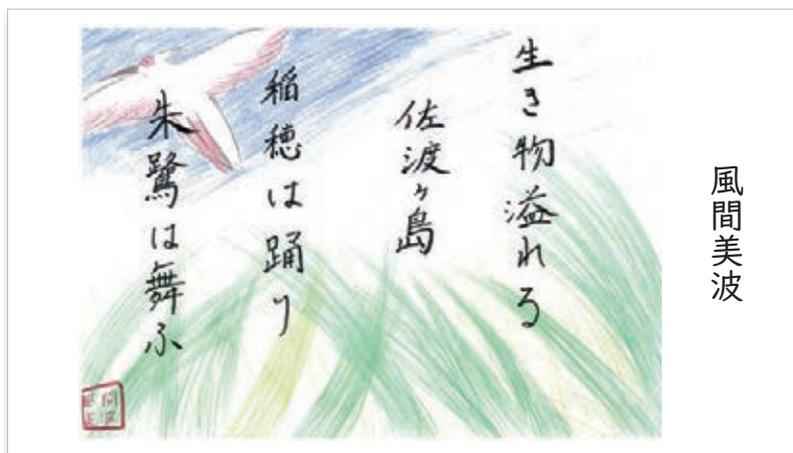
佐渡保育専門学校・東京工科大学・東京理科大学大学院

東京大学大学院農学生命科学研究科

未来を創る学びの場・桐朋中学校

佐渡Kids生きもの調査隊・さど里山こびりい隊

風間美波



小池晶子



佐藤拓生



野田美和子



檸檬



福井奈巳





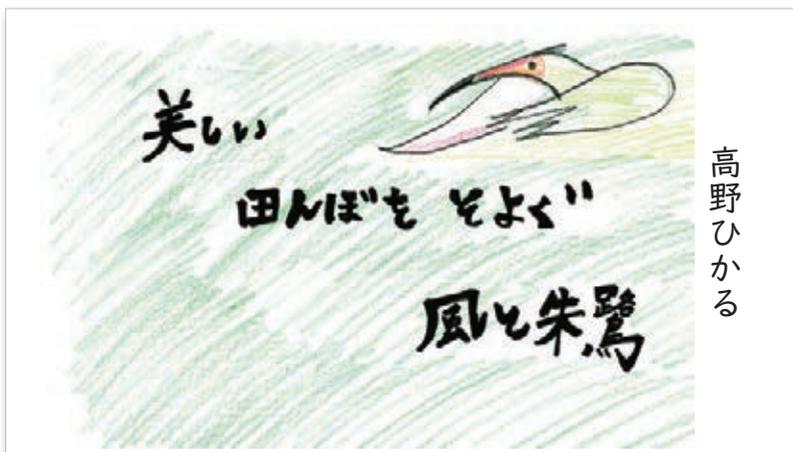
田淵美咲



田淵亜寧



鈴木陽子



高野ひかる



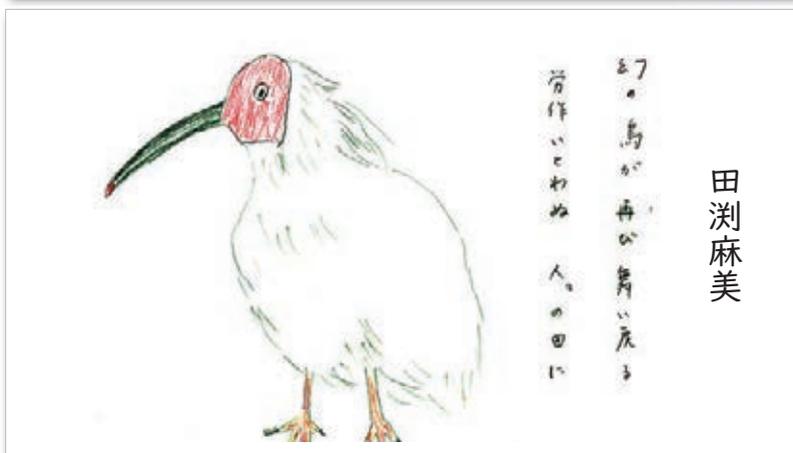
大塚裕子



Yukiko Usui



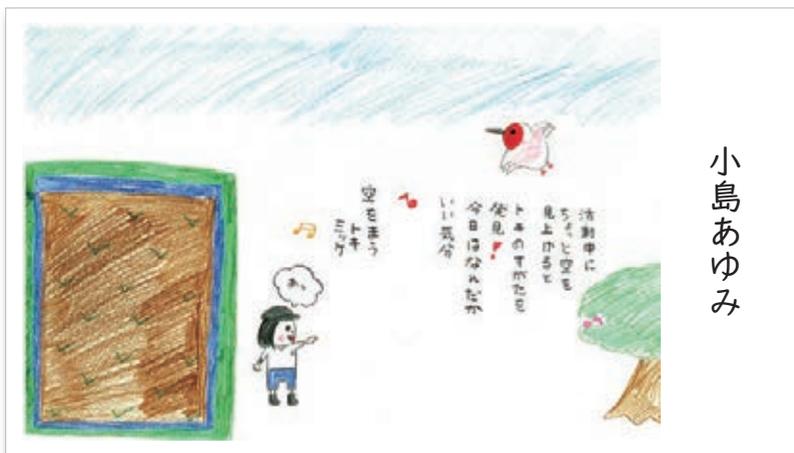
エザキカズヨ



田淵麻美



村瀬桃子



小島あゆみ



内山直洋



澤口佳歩



悴田結心



山田明日夢



三浦ゆう

日比谷建瑠



菊池弘子



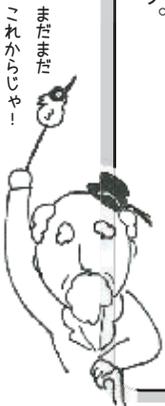
生物多様性ポイント④

「トキの野生復帰」

昭和56年、野生トキ5羽の一斉捕獲から27年が経った平成20年9月、佐渡の空にトキが再び飛び立ちました。

平成24年には放鳥したトキからヒナが誕生、平成28年には野生生まれ同士のペアから純野生のヒナが誕生しました。

毎年2回の放鳥と、野生下で生まれたトキを合わせ、平成31年2月現在、野生下には約350羽のトキが生息しています。



齋藤啓太

百の命



一本の稲に

小林直美



黄金つ

稲穂の上は

とき色に

藤井彩奈



虫探し

夢中になりすぎ

空もトキ色

イラスト川柳 応募学校・団体

佐渡保育専門学校

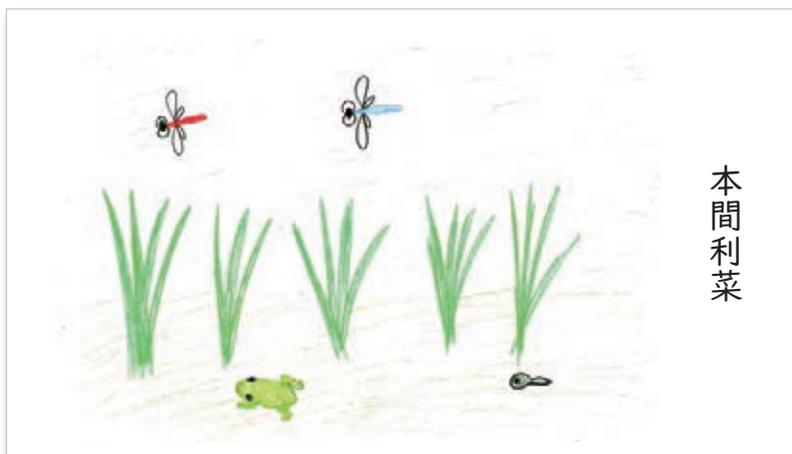
玉川学園

新潟大学付属新潟小学校

未来を創る学びの場

佐渡市立新穂小学校

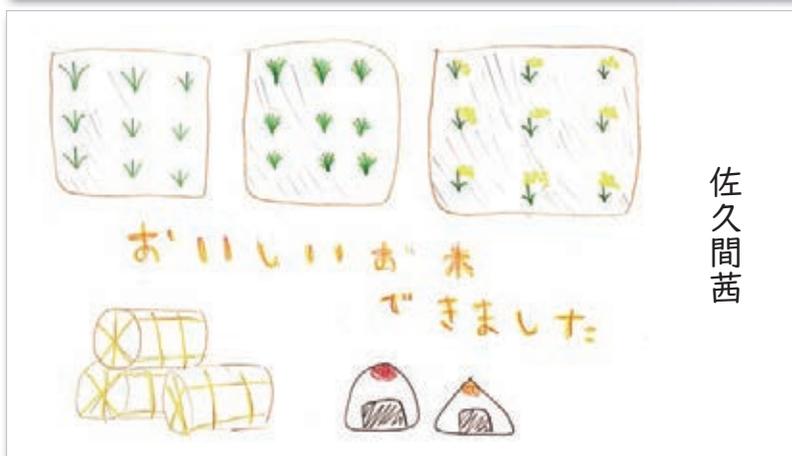
佐渡Kids生きもの調査隊



本間利菜



本間風花



佐久間茜



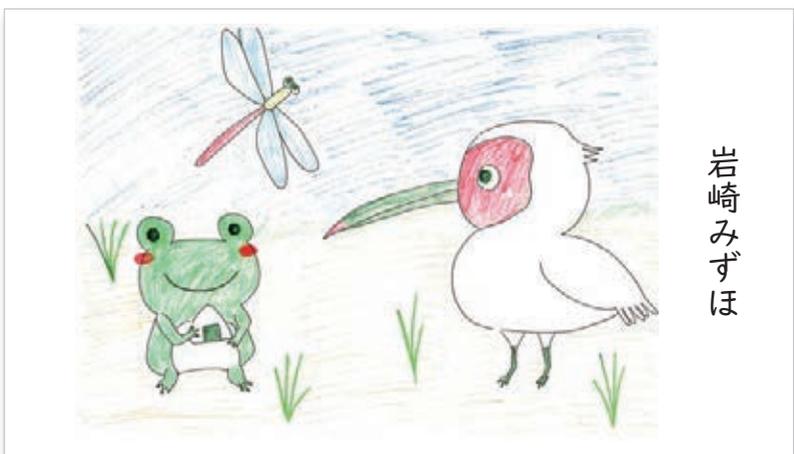
山寄恵



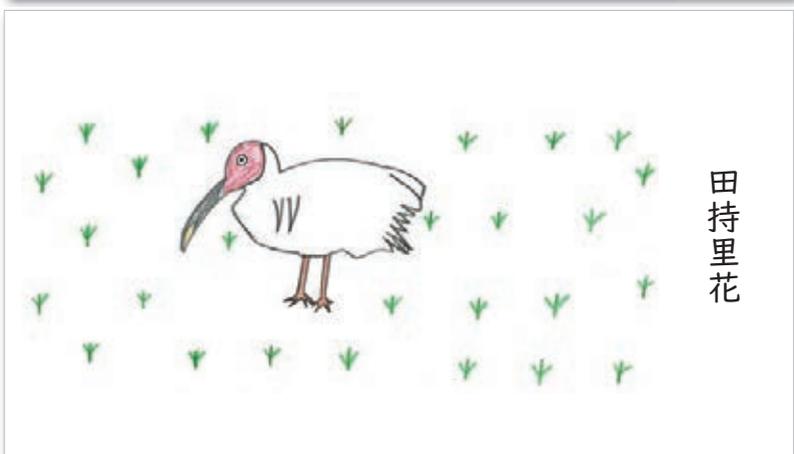
近藤葵



宮下紫苑



岩崎みずほ



田持里花



くろ



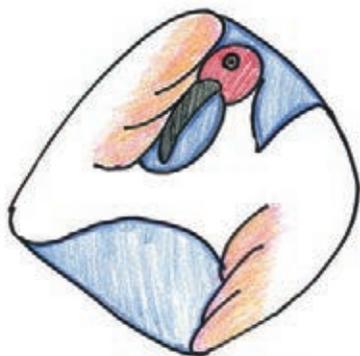
トキよ自由に!
永遠に!

田淵和宜

自然て、
いいね~~~~!!



福井晴琉



鳥の开始を4-7にしよう。

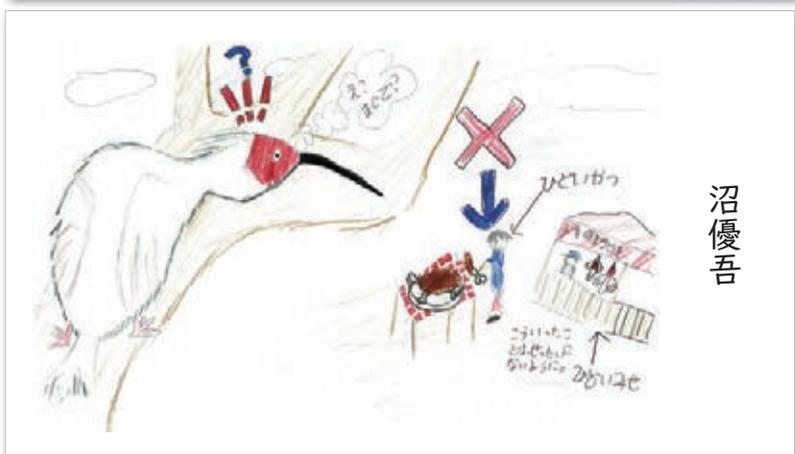
高野勇人



大塚周二郎



高野樹



沼優吾



高野龍



荒井信乃輔



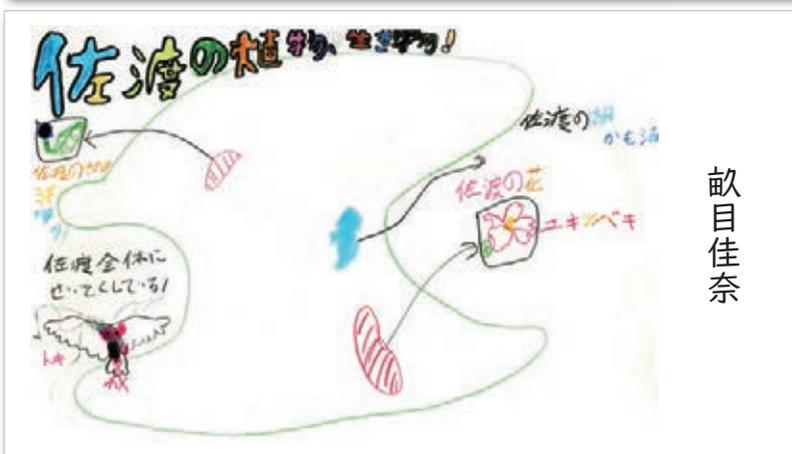
山本兼太朗



石井優仁



石原凜



畝目佳奈



小埜原脩



金田庵



計良聡美



古川璃夢



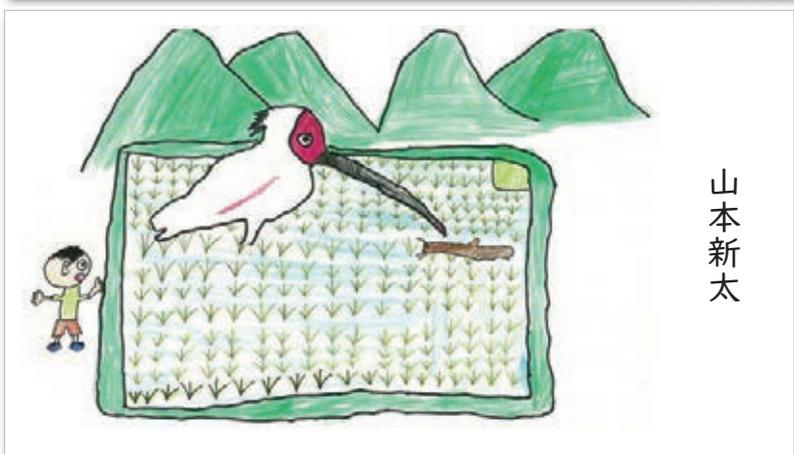
松本結南



安田悠人



矢田明日奈



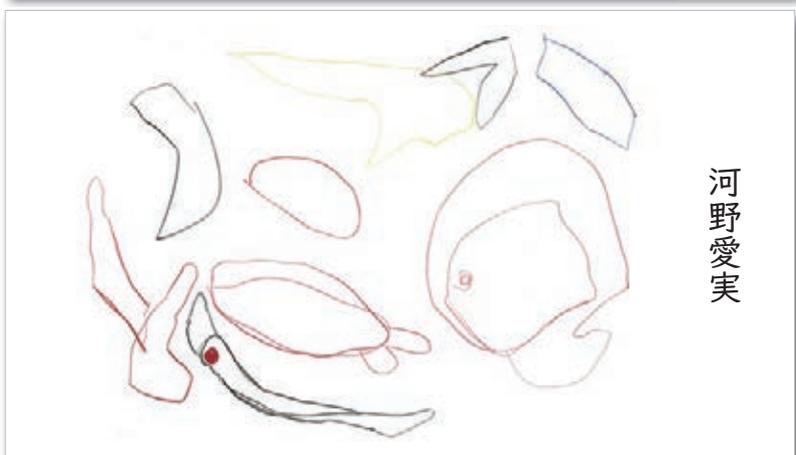
山本新太



福井葉琉



三浦滉太



河野愛実



佐々木陽士



小宮山倅啓



小宮山ちひろ



本間統惺



上之山篤人



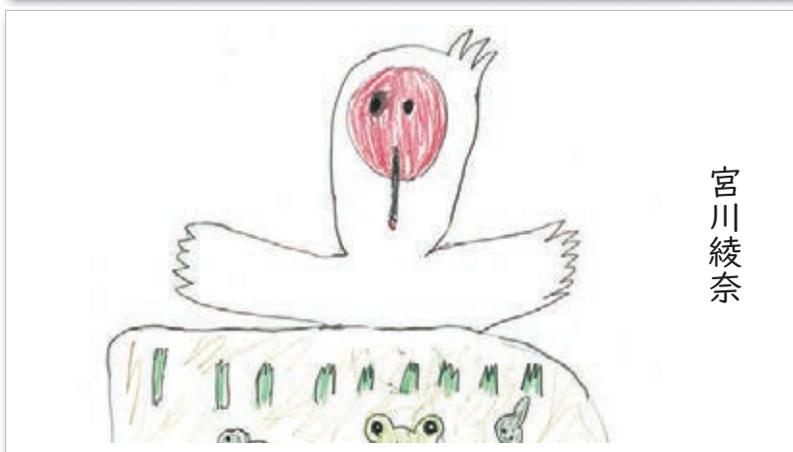
菊池叶望愛



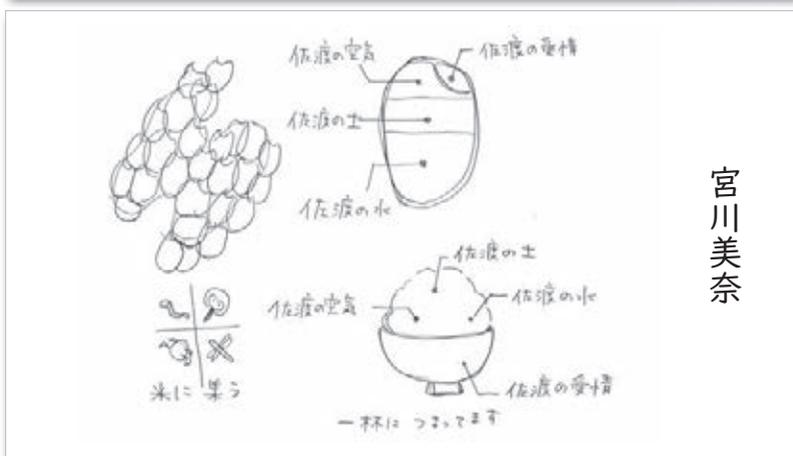
佐々木歩実



野田妃夏



宮川綾奈



宮川美奈

小林創



小野寺雄大



菊地心優



菊地陽哉



小林幹



佐々木綾乃



イラスト 応募学校・団体

佐渡総合高校・佐渡保育専門学校

玉川学園・新潟大学附属新潟小学校・和光学園

佐渡市立新穂小学校・未来を創る学びの場

佐渡Kids生きもの調査隊・さど里山こびりい隊



佐渡 Kids 生きもの調査隊



Kidsのお米は自然栽培（無農薬・無肥料）で育てています。夏の草取りは米づくりの勝負時！



田んぼの作業の後は、生きもの探し！



毎年開催されている能登のKidsとの交流会

「佐渡 Kids 生きもの調査隊」は、佐渡島内の小学3年生から中学生を対象に、畦ぬりから米売りまでの米作りの一連を体験し、お米のことや生きもののこと、そして田んぼ・生きもの・人とのつながりについて学んでいます。

また、他地域の子供たちとの交流を通して、その土地の文化や田んぼ、生きものについて学び、地元である佐渡のことを考える活動を行っています。



Facebook で活動公開中！



佐渡 Kids 生きもの調査隊

検索





米づくりの体験をイラストと日記で表現して、地産地消フェスタの店頭で販売！



店から飛び出し、練り歩きながら宣伝



好評につき完売！ありがとうございました！

Kidsによる米づくりの活動舞台は、田んぼだけではありません。お米を育てるだけでなく、食べてもらうまでが「米づくり」です。大事に育てて収穫したお米を、佐津市地産地消フェスタで販売しました。どのように宣伝したらお客さんが興味を持ち、買ってもらえるかなど自分たちで考え、米づくりレポートを掲載した「田んぼ日記」の配布や看板の制作、お店の飾りつけまでKids自らが考えて行いました。販売する米袋には、Kidsが描いたイラストがはられています。Kids米は人気で、100kg 完売御礼となり、自分たちのお米をお届けできた達成感で大喜びでした。



トキと暮らす島

生物多様性佐渡戦略

【基本理念】

生物多様性が育む佐渡の豊かな自然と暮らしを保全・再生する

佐渡で暮らす私たちと多くの生きものが共生する環境は、長きに渡り培われてきた豊かな自然、歴史、文化について市民一人ひとりが「知る・守る・使う」ことによって、保全・再生されるものです。

この「知る・守る・使う」に対応した3つの基本目標を設定し、積極的に推進する施策を定めています。

知る

「佐渡の生物多様性豊かな環境を市民一人ひとりが理解する」

私たちの健康で豊かな生活は、自然から多くの恩恵を受けている事を自覚することが大切です。将来に渡って佐渡の生物多様性豊かな環境を保全・再生していくためには、まず、私たち一人ひとりが佐渡の環境について十分理解し、後生に渡って継承して行くことが必要です。

佐渡市の取組み

- ・生物多様性に対する市民理解の促進
- ・組織・団体間のネットワークの構築
- ・企業CSR活動の参画促進
- ・大学等との連携による人材育成の促進

自分が出来る範囲で
やってみるのじゃ！



守る

「生物多様性の損失を食い止め佐渡本来の生態系を回復する」

私たちは生活の安全性や効率化のもとに様々な開発を進めてきました。結果、佐渡各地の自然環境に依存し生息していた在来の生物は住みかを失い、その個体数は減少してきています。今後、生物との共生を図る整備を進めなくてはなりません。

また、佐渡には本来生息・生育していなかった生物が持ち込まれ、佐渡固有の生物相と生態系に対する大きな脅威となっています。深刻化する前に、適切な対策を実施し、生物多様性の損失を食い止めなければいけません。

佐渡市の取組み

- ・ 在来種の保全・保護
- ・ 生態系に悪影響を及ぼす生物への対応強化
- ・ 多用な生物が生息・生育できる環境の保全・再生

使う

「生物多様性の恵みを持続的に享受する地域社会を構築する」

佐渡はG I H A S（世界農業遺産）に認定されました。佐渡の農村文化や伝統芸能、里地・里山の美しい自然景観を次世代へ継承していくためには、持続発展的な農業農村の活性化が最重要課題となっています。

佐渡で育まれる生物多様性の恵みを持続的に享受しながら、活力ある経済・社会活動を実施し、若者が定住・定着できる社会づくりを行っていくことが現代の私たちに求められています。

佐渡市の取組み

- ・ 環境と経済が好循環する産業の育成
- ・ 環境負荷の少ない循環型社会づくりの促進

「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」より 詳しい内容は、佐渡市ホームページまたは冊子をご覧ください。
トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略 <https://www.city.sado.niigata.jp/admin/vision/biodiversity12/pdf.shtml>

編集後記

2018年度も、トキに関していろいろな出来事がありました。秋には「トキ放鳥10周年記念」として内親王眞子様にご臨席いただき、19回目の放鳥が行われました。

また、野生復帰の一つの目標としていた220羽の定着が2年早く実現した年でもあり、環境省のレッドリスト（絶滅の恐れがある野生生物の種のリスト）の中でトキが「野生絶滅」から「絶滅危惧ⅠA類」にランクダウンしたという記念すべき年にもなりました。国内の動物では野生絶滅から脱した初の事例ということです。

トキの野生復帰が順調に進んでいることは、認証米農家さんの生きものを育む農法の成果であり、広く佐渡市民とトキとの適度な付き合い方の成果でもあります。島民みんなで大いに誇るべき出来事だと思います。

今年度の佐渡生きもの語りは川柳・短歌部門に87作品、イラスト部門に51作品、イラスト川柳部門に28作品、合計166作品の応募がありました。これは昨年度より多い数です。田んぼで見つけた生きものこと、お

米のこと、そして、佐渡ならではのトキの事などが巧みに表現され、いずれ劣らぬ秀作ぞろいです。

7名の選考委員により全ての作品の中からノミネート作品が選出され、11月に開催されたJA佐渡ふれあいアッセまつり来場者の方々の人気投票によって、最終的にグランプリ作品と準グランプリ作品が決まりました。受賞された皆様、おめでとうございます。今回の受賞者は、全て若い年代の方たちです。この受賞をきっかけに、これからも佐渡のお米、農業、生物多様性に思いを馳せてもらえたら、そして次世代に繋げられたら最高です。最後に、作品をお寄せくださった皆様から感謝いたします。ありがとうございます。そして、来年度も新たな応募をお待ちしています。

一般社団法人 佐渡生きもの語り研究所

理事長 仲川純子

佐渡生きものの語り作品集 2018

発行日 2019年3月

発行 佐渡市・朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会

編集 一般社団法人 佐渡生きものの語り研究所

イラスト Kanako (ドクターイキモン)

「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」より

写真 (一社) 佐渡生きものの語り研究所

印刷・製本 新穂印刷

お問合せ先 〒952-0103

新潟県佐渡市新穂潟上1101-1 トキ交流会館2階

TEL 0259-22-2658 (FAX兼)

<http://sado-ikimonken.jp>

E-mail : ikimon@sado-ikimonken.jp

ノミネット選考委員(順不同・敬称略)

大石 惣一郎 佐渡棚田協議会 会長

若松 徹 環境省 佐渡自然保護官事務所 首席保護官

本間 皓 JA羽茂 組合長

金子 聡 佐渡市役所 農業政策課 課長

青木 秀輔 佐渡市地域おこし協力隊 (潟上地区担当)

真田 和男 朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会 会長

大井 克巳 (一社) 佐渡生きものの語り研究所 理事

人気投票 佐渡ふれあいアッセまつり来場者様 (2018年11月3日)